友愛
発行所
友愛青年連盟
東京都文京区音羽 1-7-1
電話 東京(941) 2801
編集兼発行人 永田清成
定価 1部 35円

全市町村に3会員を

着実な進展を目指す

組織指導者講習会で具体策検討

組織、役員の総力上げて

本連盟の特別委員会の一つである全国組織委員会（委員長＝吉川厳雄）は、去る六月二十三、二十四日の両日、第十三回組織指導者講習会を東京で開催した。連盟組織の拡充・強化を図ることを使命とする組織委員会では、「全市町村三会員獲得運動」を今年度最重点施策として掲げており、講習会ではその具体的取り組み計画を立案した。連盟の最大の財産は、北海道から沖縄までの一〇一〇の組織であり、この計画はその財産をさらに拡充しようとするものである。

講習会には、全国十ブロックの各組織委員を始め、中央常任委員、組織関係本部職員が参加して、オリンピック記念青少年総合センター（二十三日）と鳩山会長邸離れ（二十四日）の二会場で行なわれた。

この講習会は、今年度の組織活動の具体的な展開方策について検討することを目的としたものである。五月に開催された第二回全国大会ですでに決定されている昭和四十八年度運動方針、および組織活動方針に基づき、それぞれを六講座に分けて検討した。討議は、延べ十四時間にわたって行なわれ、参加者は、結果を有効において実践するために真剣そのものであった。

講座は、①各ブロックの現状分析、②四十八年度本部事業の取り組みについて、③四十八年度組織委員会（仮称）委員会計画、④座談会、⑤実践活動の展開、⑥友愛と政治、であった。その結果、①組織の現状は、組織的にしっかりしているものと、停滞中の支部が明らかになっており、後者へのテコ入れを行なう。②本部事業の推進に対し、各役員獲得目標を新たに確認した。③全市町村三会員獲得運動を強力に進める。④機関紙〝友愛〟のブロック版を作成し、広報活動を強化する、などの決定、確認が行なわれた。特に全市町村三会員獲得運動の展開については、組織名を上げて具体的に検討し、推進に当たっての目標なども明らかにした。

講座終了後の座談会では、友愛運動を伸ばすためには何をすべきか、という問題に話題が集まった。特にその中で、社会問題に対する評価や考え方、政治についての意見、政策などを運盟としても持たなければならない、との発言が多かった。

（詳細は三面）

主張

中仏の核実験実施、計画に断固抗議する

（一）

フランスの核実験実施発表に世論が全面的に抗議運動を展開している最中に、中国は人類の願いを無視し、地下核実験を実行した。政府、各政党、関係民間団体等は、こぞって抗議の声明、談話を発表し、強くその行為に反発を示した。この事は、わが国にとっては、世界唯一の被爆国として、全く遺憾なことであり、言語に絶することである。本連盟も、核兵器禁止平和国民会議に属し、青年団体の立場として、核兵器開発に強く反対の運動を進めてきた。この度の中国の核実験についても、如何なる理由があろうとも絶対に許せないものであるとし強く抗議する。

人類は、今日米国、ソ連、中国、フランスの核保有国が核実験を繰り返り行った結果、放射能による汚染は、大気にも海水にもきく及び重大な人類滅亡の危機になっている。

（二）

日本国内は勿論、世界各国でも各種汚染の問題で、日夜その対策が練られ、討議され、繁栄の中に生み出されて来た公害等に悩まされてきた。この核実験の影響は、単に水俣病やPCB、水銀等の恐れよりもっと恐ろしいものである。

地球上の人類を簡単に滅ぼす原拠である。その放射能禍は、知らぬまに、人間の身体を虫蝕み、白血病となり、いずれ倒れされてしまう。

日本人のみなら世界の人々にとって、その恐ろしさは衆知の事である。環境浄化、保全を叫び、国連人間環境会議も開催され、世界が一つになって、地球の汚染と闘っている今日に、自国の利害防衛の旗印の下に実施することは、実に平和を敵にする反逆現の行為である。われわれは、断固として、その責を負うことを進言するとともに、近く付なわれようとしているフランスの太平洋上の核実験に断然抗議し、中止させなければならない。

（三）

平和に役立つ為に原子力を利用するならば、少しも反対するものではないが、核使用を一歩誤れば大惨な事件が起る。国際緊張を早いピッチで雪解けが行なわれている現在、自国の権威保持のために核実験をする必要が果してあるであろうか。放射能禍の恐ろしさを他にそれれば、また世界平和への到達が遅れるのみか、過去の歴史以上のものが繰り返されないとも限らない。人類の滅亡である。

本連盟は、先きの第二十回記念全国大会でメインテーマに〝平和〟を掲げ、〝創造と運動〟を取り上げた。そして、その運動を大衆の中へ浸透させるべく方針を打ち立てた。世界平和は常に人道主義に則り、人類愛の和の下に、平和を強く世界に訴え運動を展開しなければならない。その為にも人類の悲願である核兵器禁止と平和社会建設に断固と立ち向かい、目的達成の地道な活動を進めて行かなければならない。

東南ア派遣13万円で

十一月十日から15日間

我々の努力が組織拡大につながると討議にも熱が入る

去る七月四日に行なわれた第三回中央常任委員会で、第九次東南アジア使節団派遣の経費、日程が審議された。その結果、参加者負担は十三万円、期日は十一月十日（土）から十一月十四日（土）までの十五日間とすることが決定した。この使節団は、昨年度までは二十四万円程であったが、文部省の補助事業として取り上げられたことにより、低廉な参加費で実施できることになった。

中央常任委員会は、大会および全国中央委員会の決定に基づき本連盟の運営、執行について審議決定するために、毎月開催されている。その第三回会議は、執行部長次長を加えて七月四日午後七時から本部事務所で開かれた。

次長が会議に参加するのは、今回が初めてであったため、渡部事務局長から、執行部次長の役割などについて説明を行ない、特に若い行動力と創造性に期待する所が大きい旨の話しがあった。

議事は、田中恭一事務局次長の議長で進められ、会務報告、五月六月度および第二〇回全国大会の会計報告の後、①組織委員会報告について、②文化講演会実施計画について、③東南ア、オーストラリー使節団派遣を審議した。

①組織委員会報告は、吉川厳雄全国組織委員長から行なわれ。特に今年度の最大の課題である、全市町村三会員獲得運動の展開については、執行部次長もそれぞれの担当分野での目標に向けて活動して行くことが確認された。

②文化講演会の実施計画については、開催予定地および日程の事務局案が報告され、それに従って各地方組織と接渉することになった。③の各使節団については、第九次東南アジア使節団の日程を十一月十日～二十四とし、費用を十三万円とする事を決定した。その他日程計画に従って現地との接渉を広報部がそれぞれ行なうこととした。④の受け入れについては、世界青少年交流協会関係のルクセンブルグ班十名、ドイツ親善班二十五名、カナダ班四一名を受けることを承認した。

第二回中央常任委

第二回中央常任委員会は、六月六日午後六時半から本部で開催され、沢田征矢議長の下、議事に入った。議題は①上半期事業について、②組織巡回について、③交流会、総理府海外派遣について等であった。

①上半期事業については、第一回中央常任委員会で、担当部および事務局で具体的な検討を進めておくことになっていた。会議ではその結果が報告され、第二〇回友愛リーダース・キャンプ、ブロック別年修会、東南アジア使節団派遣、友愛文化講演会の具体的な実施計画が承認された。

友愛クラブ例会

去る六月二十日（水）正午より東京ヒルトンホテル〝スターヒル〟の間において、友愛クラブ六月拡大例会を開催した。

今回は、先きに、来年行なわれる参議院議員通常選挙に全国区から出馬の意向を示された本連盟副会長（元大蔵事務次官）鳩山威一郎先生を講師に招いて、多数の参加のもとに開催された。

先生は、まず、今回の参院選出にあたっての経過を説明され、父故一郎先生の政治理念を継承し、自分なりの進み方をしたい旨を話され、また、自分の名前が、イギリスの提督ウイルソン閣下のなまりから名付けられたと説明されるなど大蔵省時代の労苦話を中心に話題を追って和やかに話された。

直言

◆うっとおしい梅雨

がありますと、真赤な陽がギラギラと照りつける季節がやってくる。もう本格的な夏になる。東京では、その熱気を吹き飛ばし、あるいは一段と高めるように、ことに行なわれたのが東京都議会議員選挙である。

◆自民対決、社共の革新が過半数を占めるか、などと言われたこの選挙も、八日の投票、そして開票の結果は、自民党の現状維持、社会、民社両党の躍進、共産両党の躍進、ということで幕を閉じた。首都東京もようやく平静を取りもどしたというのが実感である。都政そのものより、イデオロギー選挙、国政偏重選挙などと言われていた。この選挙で自民党が議席数をへらすと、来年の参院選にもそれが続き、自民党はもう駄目だなどという声もあちこちで聞かれたことは事実である。

◆それ故に、闘いは熾烈であった。しかし、それにしてもこの選挙でまかれたヒラ（各党の新聞）の数はすごい。なんと三億五千万枚だったと言う。トラック七台分、しかもそれがゴミとなり灰となったのである。紙不足が近づいている現在、そしてゴミ問題が大きな争点の一つであった都議選でこんなことを考えざるをえないのは、われわれが選んだ政党の代表者であるのは間違いない。多少ヒステリックではあるが、そう言いたくなるほどのすさまじさであった。ある主婦は、ポスト、戸口に投げ込まれたチラシを捨てないで、新聞と一緒にチリ紙交換に出したという。すべての紙を再生産に回わすためである。立派な話しと思った。

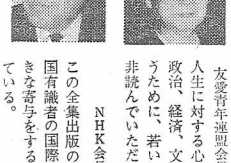
◆加えて例の通りの選挙違反の行列である。金をばらまき、物をばらまき、紙や灰や騒音をばらまき、不正をかたかてばらまく。これで当選のあかつきには、正義を護り、都民の生活を守ってくれるのかと思いたくなる。とにかく間違いが多すぎる。正しいものだけを見つめ、実行するのはむつかしいことである。しかし、純粋若者の集りである友愛において、われわれは常に正しいものだけを追求して行けないのだろうか。外は涼しい風が恋しくなる〝夏〟である。

三千四

明日を築く知性と技術 鹿島出版会 東京都港区赤坂6-5-13

新たな構想のもとに、全思想体系を集大成した決定版
クーデンホーフ・カレルギー全集
全9巻完結！ A5判各一,000円

1 クーデンホーフ＝人・思想・行動 パン・ヨーロッパ 鹿島守之助訳編
2 ヨーロッパ国民／ヨーロッパの統合／ヨーロッパにおける女性の使命・他 鹿島守之助、深津栄一訳
3 実践的理想主義／倫理と超倫理／人生の戒律 鹿島守之助、深津栄一訳
4 物質主義からの離脱 技術による革命 鹿島守之助訳
5 ヨーロッパの三つの魂／悲惨なきヨーロッパ／ゼントルマン 鹿島守之助訳
6 自由と人生／友愛の世界革命／戦争から平和へ 鳩山一郎、鹿島守之助、深津栄一訳
7 回想録 鹿島守之助訳
8 第一回鹿島平和賞受賞記録 美の国 鹿島平和研究所編・鹿島守之助訳
9 世界的勢力としてのヨーロッパ・他 鹿島守之助訳



友愛青年連盟会長・鳩山 薫
人生に対する心構えや世界の政治、経済、文化の見方を養うために、若い青年男女に是非読んでいただきたい。
NHK会長・前田義徳
この全集出版の影響が、わが国有識者の国際政治感覚に大きな寄与をすることを確信している。

クーデンホーフ光子伝
木村 毅著 一,000円

一八歳でオーストリア貴族へ嫁した明治の女、光子は七人の子の母として三二歳で夫と死別。「ヨーロッパ共同体」の魂を育てたこの母と子の物語りは、すべての人びとを感動させるにちがいない。

第十三回組織指導者講習会報告

オルグ体制を強化

内実あった一泊二日の討議

第十三回組織指導者講習会の日程経過、検討内容・結果は次の通りであるが、さらにくわしくは、議事録、友愛ニュース（支部連絡通知）および、友愛活動の手引等を通じて報告・指示が行なわれる。各組織には、十分検討され、実施されるよう要請する。（組織委員長吉川徹）

六月二十三日（土）正午より、オリンピック記念青少年総合センターにおいて受付けが行なわれた。全国から資料をかかえた各委員は、次々に到着し、午後一時からセンター研修室で第一日目の日程に入った。

講座①は現状分析で、吉川徹組織委員長の司会で進められ、出席委員からの報告と欠席した委員から事前に提出された報告書によって組織毎の分析がなされた。引き続き講座②の本部事業計画について討議し、午後の講座を終了した。夜七時から再開された講座③組織委員会計画は、現状分析に基づき、"要対策地""要開拓地"が上げられ、真剣な検討が行なわれた。

明る二十四日（日）は、朝から会場を鳩山会長部移し、静かで落ついた環境の中で再び熱の入った討議がつづいた。特に講座⑥の実践活動の展開では多数の内案である提案が出され、実施計画に組み入れられた。また講座⑥の友愛と政治では、過去・現在・将来にたる重要な課題であるだけに参加者の討議にも一段と熱が入った。

全講座終了後、鳩山邦夫連盟国際クラブ理事長をまじえて座談会を行ない、現代青年の政治意識、選挙に対する見方、さらには友愛運動のこんごの課題等について話し合った。

◇講座①

各ブロックの現状分析

◇北海道◇旧北海道を中心に運動を展開、学生部が札幌大学を中心に拡大している傾向がある。（家越委員）

◇東北◇統一福島支部が結成してきた。例会等も常に二十人以上集まる。（塚原委員）

◇関東◇千葉、群馬等の組織のほりおこし策をたてなければならない。（大谷委員報告書より）

◇東京◇今年中に六支部の結成を目標にしている。（田中英委員）

◇甲信越◇（長田寿委員）◇四国◇（細井委員）◇九州◇（尾形委員）の報告書より、既存の組織はだいたいしっかりとしているが眠っている組織をほりおこすむね伝えられてきた。

◇東海◇駿豆、駿遠に関しては若者がいないので、文部に合せて再建対策をたてる。静岡県内支部は三島が中心であるが他の所は多少弱い（黒澤委員報告書より）

◇中国◇岡山玉野及に支部結成の動きがある（鷲塚中央常任委員）

◇総評◇五年位前から会費の徴収等事務的処理を厳しくしてきた。その結果、しっかりしている支部と停滞している支部の差がはっきりとしてきた。その点から停滞支部に対する組織委員オルグ体制を強化し、眠っている支部のほりおこし策をたてなければならない。

◇講座②

本部事業の取り組みについて

（担当事務局長郡文雄）

今年度は文化講演会、第九次東南アジア使節団派遣、第四次オーストリアスキー交歓団派遣、リーダースキャンプ、ブロック別研修会等を中心に行なうこととし、全員積極的に参加、協力の確認をした。

◇講座③

組織委員会計画

（担当組織部長吉川徹）

全市町村に三会員を獲得しようを合い言葉に、眠っている組織のほりおこし策を検討した。

三会員獲得運動は①本部で資料を提供、②本部事務局、中央常任委員、組織委員のオルグ体制の強化等の方法で行うこととし、まず組織、活動展開の核となるべき会員のリスト・アップ、続いてメンバーの募集を行ない、役員のオルグによってそれを強固なものにして行くことになった。

また、組織活動の日常化と強化・充実のために往来刊行していみちしるべ等の資料は、友愛活動の手引きという一冊の本にまとめるということが決定され、組織、学習全部と事務局が共同して進めることになった。

講座④

座談会

雑談形式で組織における悩み等を話し合った。

講座⑤

実践活動の展開

①運動の統一制（担当中央常任委員長永田清成）今年度の運動方針を通じて運動の統一制をはかっていく事が必要であり、組織における統一化は絶対にされなければならない。また、具体的には四月二十九日の友愛創立記念日・十一月十五日の友愛の日を通じて実施する。

②広報活動の強化（担当広報部長田中恭一）宣伝は忍びであるという話から始り宣伝活動を進める上のポイントが話された。また友愛のさそいと入会申込書を一緒したものを出した方が良いという意見が出された。その他、機関紙を フロック版として各ブロックで自由に使用してみようということになった。

③学習活動の強化（担当教育部長渡部宏）具体的な学習の進め方の説明があった後、友愛とは？の問いに対する説明は、三原則の相互尊重、相互理解、相互扶助を納得いくまで行なうのが最良であろうというアドバイスがあった。

④資金活動（事務局長渡部文雄）資金活動の重点は①会費、②事業収益③新聞（本部機関紙）を利用して賛助会員を増していく④支部独自の出版物の販売等でありこれらについて具体的に説明があり、さくに会費の徴収の仕方というところに重点がおかれた。

◇講座⑥

講演 友愛と政治

（国民運動推進委員長田中太郎）理論と実践・物質主義からの離脱の中からまとをしぼっての講演があった。

要旨は、友愛青年連盟は理論と実践に書かれている政治活動についての三つの原則を基として今後も運動して行かなければならないというものであった。講演後、意見交換が行なわれ参加者の一致を得た。

時半より、日本青年館第五会議室において、昭和四十七年度第十回昭和四十八年度第二回中青連合同委員会が、永野光四郎委員長（日青協事務局長）の議長の下に開催された。

第十回委員会は、昭和四十七年度の決算報告とその監査状況について説明があり承認された。

第二回委員会は、諸経過報告のち議事に入り、議題は、①昭和四十八年度活動方針策定のための対策について、②「青年の船」建造について、③事務局長選任について、①については、新年度役員担当を決め、各団体より専門委員を推せんし、次回までに事業計画及び予算を提出することとした。②については、船建造の動きがあり、情報収集を行ない、近い将来、そのための会議を開催することとした。③については現事務局長が辞意を表明しているが、新事務局長候補がみつかるまで留任しておうこととし、事務局体制の明確化を図る為、規定作成をすることを承認した。

全国青学生大会もいよいよ間近にせまってきました。現在の学生部は、過去に諸先輩が苦労して築いてくださった活者さが失なわれたように見えます。事実、「学生部の弱体化」ということをよく耳にします。

とかく現代の学生たちは、サークルや組織化された団体に加入することを嫌いがちです。組織の中での自由というものを体験しないうちに社会に出て行く学生が、数多くいるのは確かです。そんな中でわれわれ学生部が、彼らに、共に喜び、共に悲しむ場を提供することによって仲間を育てて行く、つまり仲間意識から大きなものが得られるのではないだろうか。

全国の学生同志、その若い力を北海道友愛山荘に結集しよう。学生組織の拡充と友愛思想から現代の政治にまで目を向ける学習強化のために。

プラタナティー社会の実現を目指して、北海道、仙台、東京、徳島の学生部、そして全国の学生会員諸君、共にガンバロー！

第三回全国学生大会準備委員会

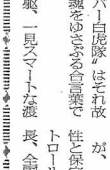
第3回全国学生大会

開催に向けて学生同志に訴える

8月18日～20日・北海道友愛山荘

ロイルプフー 会津魂で組織を伸ばす

新事務局長 渡部文雄君



会津といえば白虎隊。維新百年の今なお会津人の精神的拠り所は白虎隊である。落日を無理とは知りつつ喚い止める役割を演じたのだから無理もない。

"リメンバー白虎隊"はそれ故会津人の魂をゆさぶる合言葉である。

長身痩軀、一見スマートな渡部君も腕中燃ゆるが如き会津魂の持ち主である。酔えば外見とは似つかわしからざる会津節を揚言して止まぬ。会津魂は気骨気質、節を通す意気地を内容とする。加えて、百万人たりとも我行かんの軽易たる意気込みと正義感である。この一般的会津人気質に多少の柔軟性を加味したのが立体的に観察し渡部君の素顔だといえばちょ過ぎたろうか。

が、一般に会津人の持つ排他性と保守性偏執性を適当にコントロールし、地対部長、組織部長、全国組織委員長を無難にこなし、事務局長になったことを考えることの寸評も当ってまた遠からぬものであろう。

上京して学生時代を過した会津青雲寮で彼は友愛を知ることになる。年込の一角にある、故石橋湛山先生名づけるこの寮には、会津以外の地方出身者も伝聞関係の中で、生き方、特に価値観の多様化と現代社会で若者は何を求めどう生きて行ったら良いかを自問し、友愛による若者の連携と躍動を推進しつつ自らの人生をも切開いて行こうと決意し友愛事務局に入り今日に至る。それゆえ長年組織関係を回ったのは、友愛に対するまじめな生き方に対する彼の信条なのである。結婚二年、彼に過ぎていると定評高い愛妻ミイさんと二人きりの生活を楽しんで居る。（M・M記）

地域に根ざす紙面に

"友愛"のブロック版を計画

第十三回組織指導者講習会で福島支部の塚原勇雄東北ブロック組織委員から、機関紙"友愛"のブロック版の作成が提案された。この提案は、全員の賛成を得て、具体化のための準備に取りかかることになった。

本連盟の宣伝活動を進める上で機関紙の役割は大きいが、現在のものは全国版一種類であるため地方での販売に障害になることがある。地方に合った紙面を作ることで、この障害を取り除きたいということでこの提案がされた。

一～三面は、現在の全国版を使い、四面をそれに当てる計画であるが、経費（二万円前後）は、ブロックで負担することになっている。現在、福島支部を中心に東北ブロック、愛知県連を中心に東海ブロックが出来作成してみたいとの意向を持っている。編集委員では九月号を目処に具体的企画を立案中である。

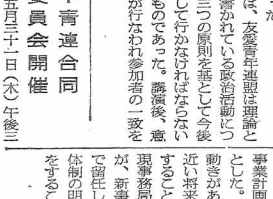
全国組織委員に鳩山国際クラブ理事長も加わり、今後の友愛運動を語り合う。（鳩山邸はなれで）

世界へ飛ぶ友愛マン

鳩山副会長の激励を受けて

世界青少年交流協会（川崎秀二会長）主催のドイツ、オーストリア、アメリカ、カナダなどの各派遣団に参加する各会員の壮行会は、六月二十一日午後七時より東京音羽の鳩山会長邸はなれで盛大に開かれた。

壮行会には鳩山副会長をはじめ早川広中常任委員長与・鳩山邦夫国際クラブ理事長その他都連会員の多数が出席した。永田中央常任委員長のあいさつで始まり次いで沢田国際部長からの団員紹介のあった後、鳩山威一郎副会長が「元気に研修され大きな成果を挙げて下さい」と激励のあいさつをされた。



その後挨拶を囲みながら、団員各自の決意や出席者のみんなが激励の言葉を交わし合った。

最後に友愛の歌を唱った後、拍手で団員を送り出した。

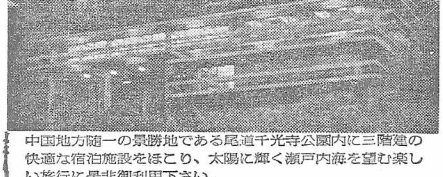
これより先団員研修会は、同日午後一時より開かれ、①友愛の国際活動②本連盟の基本的な理解③海外生活での注意事項についてなされた。

なお送られた方々は、田代保尚委員（オーストラリア監督、千葉県連）他十名で本紙六月号ですでに紹介しました。

中青連合同委員会開催

去る五月三十一日（木）午後三

尾道友愛山荘



中国地方随一の景勝地である尾道千光寺公園内に三陸道の快適な宿泊施設をほこり、太陽に輝く瀬戸内海を望む楽しい旅行に是非御利用下さい。

広島県尾道市千光寺公園内

尾道友愛山荘 TEL 尾道 (0848) (22) 5554

所長 高橋最宣

（ユースホステルの規則に従っています）

宿泊料金 1泊2食 会員 700円 一般900円

友愛山荘

軽井沢の夏は世界の避暑地としてまた冬のスケート王国としては勿論四季を通じての美しさは、若人の心をいやし明日への活動を約束いたします。

長野県北佐久郡郡軽井沢町1608

軽井沢友愛山荘 TEL 軽井沢 (02674) (2) 2477

ペアレント 三浦満

磐梯友愛山荘

朝日磐梯国立公園の恵まれた景観の中に建って、東京一を目ざす猪苗代スキー場と清澄な猪苗代湖を望み春夏秋冬それぞれの美しさをほこっています。

福島県耶麻郡猪苗代町字葉山

磐梯友愛山荘 TEL 猪苗代 (02426) (2) 3424

ペアレント 卯月研造

問合せ 財団法人 日本友愛青年協会

東京都文京区音羽1－7－1 TEL (03) (941) 2801

デノミネーションを考えよう（中）

円を国際感覚にあった貨幣に

副会長（元大蔵事務次官）　鳩山威一郎

円を国際感覚にあった貨幣単位にしないと日本経済に対する世界の不信感はいっそう高まるためデノミは早急にすべきである、と鳩山副会長は大蔵省在任中からのデノミ強行論者であった。本紙では先月号から三回にわたりデノミとは何だろうか？、という一般にはまだ感心の薄い経済問題を取り上げ読者の皆さんと考えてみることにした。

日本だけに都合いい貨幣

今日、日本の場合でも、日本だけの都合を考えた貨幣制度、しかも、戦時中の体制のままの制度では、もうすまされなくなってきつつある。

それだけ国際間において、日本の円が問題にされているわけであるから、日本の通貨というものも、国際感覚に合った価値をもつ通貨にしなければならない。

それは現在の円が強いというはなしとは、全く次元の違ったはなしである。

いろんな商品の価格にしても三〇〇で買ったり、掛けたりしなければならないということは、国際的な取り引きに比べても問題があり、金融面でもいろんな問題が起こり、国際関係上、マイナスの要因が多い。

もともとデノミネーションというものは、経済学の問題ではなく、経済的な変動を伴うものでもない。われわれの頭の切りかえだけの問題である。

それを経済政策的なことと、デノミネーションの問題とを混同して、いったいその機会にどうしたら損しないですむかとかどうしたら得することができるかということとは、全く無関係なことであって、それは経済政策ではなく、もっと根本的な問題なのである。

つまり、もっと基礎的な国家制度としての問題であるということであり、デノミネーションをやったから物価が落ちつくとか、あるいは物価が上がるとかいうものではない。もちろん、同時に正しい経済政策が行なわれなければならないわけで、貨幣制度を改革したからといって、他の経済制策がおろそかにされたのでは困るが、それは全く別な問題として考えるべきものであるはずである。

戦時体制下の貨幣制度

現在の通貨制度を考えてみると、いまわれわれの財布の中にはいっているコインは、昭和十三年に「臨時通貨法」というものができて、事実上、従来の貨幣法の体系から離れて、いわゆる戦時立法によるものであって戦争遂行のためにはいろんな面で無理をしなければならない。

そのために従来のコインでは間に合わなくなり、いまの一円玉のアルミ貨も、そのときに臨時措置として発行されたものである。要するに貨幣としての重みがないわけである。

仮りにゴルフ場などへ行ってみると、一円玉がマークに使われたりしている事実があるように、本来、アルミニウムというものは、貨幣の素材としては適しないものである。

それは戦争中の特別立法によってできたものであるから、戦後ある一定の時期を経過すれば当然、特別立法は廃止して、平常な貨幣制度に戻すべきである。それが未だに行なわれていない、平時の貨幣制度に戻らないということは、大蔵省が怠慢であったと言われてもやむを得ないことである。

その点、私は内部にいたものとして、責任を感ずるわけである。もっとも、私は次官在任期間は一年であったが、次官の職にあったときでも、その機会を得られればやるべきであると考えていた。

また、当時の水田大蔵大臣も同じ考えをもっておられたが、たまたま国際的な為替相場の変動、スミソニアン合意による通貨協定、円切り上げ問題等があって、実際経済のほうが大へんな問題になっていたわけで、それと同時にするということは、一般に錯綜する感じを与えるということで、自説を通すわけにもいかなかったという事情がある。

しかし、逆に言えば、通貨の値打ちが問題にされ、日本の通貨と、外国の通貨との値打ちが比較されるのも、通貨危機の時代であるといえるとともに、それだけに、そういうときにこそデノミネーションに対する一般の関心も高まり、また問題として取りあげられやすいということはいえる。

残念なイタリアのリード

前述したように、すでにフランスがデノミネーションを実施し、あと残っているのは、ベルギーが二デタ（一ドル＝四〇ベルギー・フラン）であり、日本とイタリアが三デタのまま残っているわけである。

そこで、イタリアはどう考えているかということであるが、ヨーロッパの中で三デタという大きな数字のお札を出している国はほかにはない。確かイタリアでは一〇リラまで出しているが、物価の単位も違うということで、イタリア自身としても異議性を感じ、何とか早く解決したいと考え、事実、イタリアでは、昨年十一月、上院議員提案によって、一〇〇〇リラを一スクードとするという議案が上程されている。

日本としても、イタリアに遅れるということは、国際感覚のなさを世界に示すことにもなるので、少なくともイタリアが実施する前に実施したいと、私はかねがねから考えていた。

（以下次号に続く）

▼デノミネーション▲

通貨の呼名を変更すること。貨幣的現地の数字が大きくなり計算や記録にも不便で取引も面倒になっている。最近デノミ論が示されているのは、経済の量的拡大が背景にあるのはもちろんだが、ドルに対する交換比率が三デタのままになっているのは先進国では日本の円だけという通貨の威信の面もある。

ローータリー

あくてえぶ

発刊の目的は二つあります。一つは、長期計画には会員全員の一致協力を必要とします。第二は広く友愛活動を知らせ、また理解してもらうということです。

この名称の決定には、会員から多数の提案がありましたが、私達の若さ、活動力、相互の和ということから「あくてえぶ」が一番ふさわしいということになった次第です。

支部長　中山克彦

あくてえぶ創刊号から

東北から東方へ

鈴木友愛山荘ペアレントの卯月研造氏（第一期参与）は、七月十五日に福島県知ノ青年の船で入港、西ドイツに向います。氏は、六十三名の派遣団の役員としての参加で、今後の青年活動、ユースホステル運動の糧になるものを得て来たいとのことです。帰国は、七月二十七日。

六月の事務所で

去る六月三十日午後、那覇支部の崎山事務局長は、本部事務所で偶然訪れた鳩山威一郎副会長と面会した。

崎山氏は、沖縄での今後の友愛活動について協議のため来ていたもので、副会長と歓談、握手して激励を受けた。

なぜ海外へ？

「私がイギリスを希望した第一の理由は「伝統」ということである。

今日、日本は世界の工業国となり世界の国々から注目を浴びている。そこには、アメリカという目標があったから日の発展があったのであろう。このアメリカと日本は同じ頃（南北戦争、明治維新）から文明の進歩が始まった。そして『新しいこと』すなわち文明の進歩と思い、つねに明日に向かっていた両国。私達日本人がアメリカをぬいて『世界一』になった時、そこに何が残るであろう。〝征服の満足感〟が残るかもしれない……。むなしさが残るかもはないか。GNP時代から脱GNP時代になろうとしている日本。あまりにも働きすぎた日本。今こそ私達は日本の『伝統』というものを見なおさなければならない。

伝統を守っているイギリスに行き、その伝統じかにふれ、今に来るべきである日本の『伝統のみなおし』という時代に先きがけてゆきたい。

◇　◇

江連　泰行

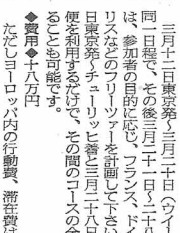
日本を離れ外国の土をふんで自分におかれている位置を〝わく〟の外からながめ、そして外国の沢山の青少年達から今までにない物を学びたい。

また友愛見聞の発祥地をたずねる。ゼミの教授がドイツの体育関係の道具とかグランドはズボラらしいと、いつも聞かされているので一度見てみたいと思い、ドイツを選んだ。アメリカもそうだが国民生活様式等あらゆる角度から理解し、今後増々友好親善の和をひろげたい。そして二〇年の機会に得られたものを沢山の仲間に伝え、友愛活動に役立てたい。

◇　◇

矢吹　勝子

自分は大学で陸上競技をしている。



AIRMAIL

ポストンにて黒田洋行

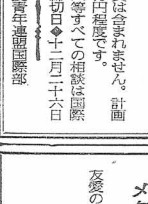
到着した時は、バトカーと消防車が港からアーリントンのタウン・ホールまで先導してくれました。

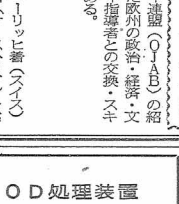
ここでは、メンバーの中では最高と思われる家に民泊です。家の前には湖があって、いつでも泳げるし、今日はモーターボートの運転のしかた教えて頂きました。とにかく毎日が楽しいです……。

鈴木

羽田までの見送りありがとうございました。小さな田舎町ケルンに週間程滞在します。ここは、オランダとの国境に近く、人口四万六千、靴工場とお菓子工場があります。連日スケジュールがいっぱいで、それに加えて三〇度以上の暑さ、今日になってようやく休息の時間がとれました。

ケルンにて　増原裕子





合掌

七月一日からボストンに来ています。アーリントンという町ですが、町全体で我々を歓迎してくれました。

松浦　直樹

ドイツにはプロコーチがいる。プロコーチといっても陸上のコーチである。日本にはまだ陸上のプロコーチはいない。一度会って陸上競技の事など話してみたいと思う。また歴代オリンピック金メダリストの名前をのせてある石の盾いてある競技場があるというので、自分のクラブのOBである、織田、南部という名前を見る事ができればと思っている。

海外派遣団員募集

友愛ヨーロッパ自由研修団

◆主旨◆ヨーロッパの政治・文化・歴史・青年活動などその他自己のテーマを作成し自己研鑽を図る。

◆訪問国◆英国・フランス・スイス・イタリア・ドイツ

◆日程◆七・二六（木）東京発→二七（金）ロンドン着二元（日）ロンドン発→パリ着三一（火）パリ発→チューリッヒ着八・二（木）チューリッヒ発→ローマ着八・四（土）ローマ発→フランクフルト着八・二五（土）フランクフルト発→八・二六（日）東京着（三十二日間）

◆プランニング◆航空便の日時は右のように固定してありますがその間の日程は自由なプランニングで行動できます。また現地での行動すべてについて国際部が助言致します。

◆費用◆右のヨーロッパ一週の航空運賃十八万五千円（公金経費は旅行の方法によって変わりますが約二十六万円～三十三万円の範囲です）◆申込み締切◆七月十四日

第九次友愛東南アジア使節団

◆主旨◆過去八度にわたる友愛東南アジア使節団の実績を踏まえ、東南アジア諸国青年との友好をさらに深めアジアの平和に寄与する。その具体的方法として①アジア青年の連帯」をテーマとして研究会の発展②留学生および使節団の相互交換などの人事交流の促進③産業文化交流の促進を図る。◆訪問国◆タイ・シンガポール・マレーシア・バリ島・香港◆日程◆十一月十日～二十四日（十五日間）◆費用◆三万円◆募集人員◆十五名◆後援◆文部省・中青連◆申込締切◆十月十日（水）

第四次友愛オーストリア使節団

◆主旨◆姉妹団体オーストリア動労青年連盟（ÖJAB）の招待を受け、オーストリアを中心とした欧州の政治・経済・文化など全般にわたり研修する一方、青年指導者との交換・スキー交換を通して欧州青年との友好を深める。

◆訪問国および日程◆

① ＜スキー班＞

四十九年三月十二日東京発→十三日チューリッヒ着（スイス）十五日チューリッヒ発→インスブルク着（オーストリア）十七日インスブルク発→ウイン着（オーストリア）十八日サルツブルク発→ウイン着（オーストリア）二十一日ウイン発→ケルンテン州シュピタル・スキー場着（オーストリア）二十六日シュピタル発→二十七日パリ着（フランス）二十八日パリ発→二十九日東京着（七日間）

◆費用◆二十四万五千円（団体行動費一切を含む）

◆募集人員◆二十名◆締切日◆十二月二十六日

② ＜自由研修班＞

三月十二日東京発→三月二十日（ウイーン）までスキー班と同一日程で、その後三月二十一日～二十八日（パリ合流）までは、参加者の目的に応じ、フランス、ドイツ、イタリア、イギリス等のフリーツアーを計画して下さい。あるいは三月十二日東京発→チューリッヒ着と三月二十八日パリ発東京着の航空便を利用するだけで、その間のコースの全部を参加者が作成することも可能です。

◆費用◆十八万円

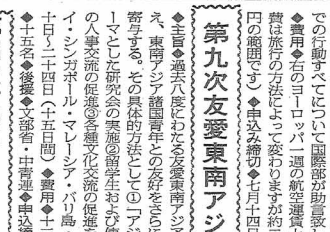
ただしヨーロッパ内の行動費、滞在費は含まれません。計画内容により行きますが、約八万円～十六万円程度です。

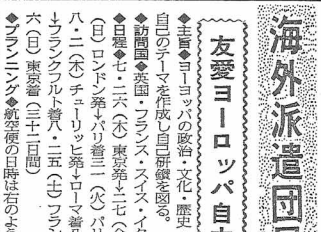
◆プランニング◆日程、宿泊所、コース等すべての相談は国際部で応じます。◆募集人員◆二十名◆締切日◆十二月二十六日

◆申込先◆112文京区目羽一一七一一友愛青年連盟国際部

東京工芸社
優勝カップ・トロフィー・バッチ
メタル・旗・記念品
友愛の皆さんには格安に勉強致します
文京区小石川五一三一一三
TEL（811）二五四一（代）

産業排水ＢＯＤ処理装置
BOD 10ppm ok
フェニックス循環式油濾過機
炉過率98%（代理店募集中）
総販元　東邦物産株式会社
製造元　北都工業株式会社
電話 03—902—0255—8番
代表取締役　平尾一夫


北海道友愛山荘
春夏秋冬北海道の旅情を一層深かめる小樽市朝里川温泉にあり、特に夏のハイキング、秋の紅葉、冬は白樺林とスキーと山の趣がある。施設は、民間版青年の家として利用さる。
〒047 小樽市朝里川温泉2—670—3
青年の家　北海道友愛山荘
TEL 0134（54）7360
一泊二食 1,500円で各研修施設あり
管理主事　照井孝由


王子ケ岳友愛山荘
全山が巨岩と怪岩によって形成されている王子ケ岳は、瀬戸内海国立公園に含まれ、眼下に瀬戸内を望む、そこには美しい渋川海岸鷲羽山の眼望は格別で、四国への足場としても便利です。
〒706—01　岡山県玉野市永井2763
王子ケ岳友愛山荘
TEL玉野(0864)(77)8070
ペアレント　壷場正春

地方だより

会長に和泉君を選出

徳島県連　平和理論の学習も

徳島県支部連合会（会長＝佐藤勉君）は、六月十日（日）徳島市新町公民館で第十二回大会を開催した。県内各支部の会員が参加した。県からは、田中恭一事務局次長が出席した。

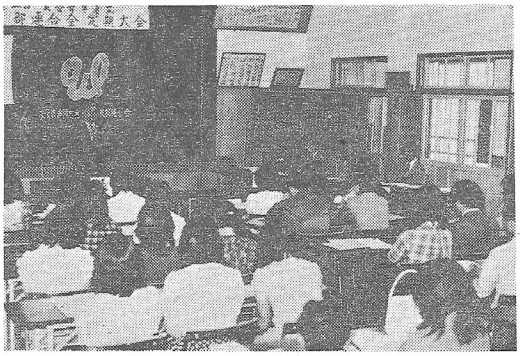
大会は、佐藤会長のあいさつで始まり、来賓の諸先生の祝辞、本部代表のあいさつと続いた。その後議事に入り、活動報告、会計報告、活動方針、会則の一部改正、役員改選の各議題を審議した。

活動方針は①友愛普及活動②研修活動③社会福祉活動④社会教育活動⑤文化活動⑥組織活動の六本の柱が立てられた。具体的には機関紙発刊と購読会員の拡張、計画的宣伝活動に基づく講演会の開催、カレルギーの〝戦争から平和へ〟を主教材として平和理論の学習、福祉施設への慰問、公共施設の清掃等が計画された。組織活動においては、地域に密着した運動の展開と趣味サークルの結成を上げ、未組織青少年の組織化を図ることになった。

会則の一部改正では、名称の改名と選合会役員に学生部選出委員を新たに加えることになった。

四十八年度役員は次の通り選出された。

会長　和泉一朗
副会長　吉本憲二
〃　近藤武士郎
事務局長　姫田正文



会員多数が参加し、盛大に行なわれた徳島連大会

支部表彰に応えよう

銚子、総会で誓い合う

六月一日（土）銚子市公民館で第二回銚子支部総会が開催された。五月の二回全国大会で栄誉ある優秀支部賞を授与され、今後の活動へも意気上がる大会となった。

今年度の活動は、毎月一回、定例日を設けて例会と行事を組み合わせた計画が立てられた。例会では、学習のほか三分間スピーチを行ない、年間を通した担当者により内容を充実させることにした。

行事活動では、友愛文化講演会を実施するほか、献血運動を行なうことになった。

これは、銚子青年会議所が中心になって進めているもので、銚子支部が後援団体となって、会員も積極的に参加することに一致した。また、歳末助け合い運動、青少年保護育成活動、海外青少年の受け入れ事業にも取り組むことになった。

当日選出された主な役員は次の通り。

支部長　沈谷忠勇

子供達と飯盒炊さん

品川支部社会参加へ第一歩

去る六月十七日（日）、品川支部（支部長＝岡本倉三君）では、神奈川県相模湖にある「ピクニック・ランド」へバス・ハイクを行なった。

今回の事業は、総会以後初めてということで、会員の親睦と「社会参加」の一環として、区内の子供達といっしょにレクリエーションをしようと企画された。

青少年育成委員会議から借用のマイクロ・バスに子供四人・会員十八名を乗せて新宿を出発し、中央高速道路を通って、約九十分。相模ダムにて休憩をとり、目的地「ピクニック・ランド」に十一時到着。

「ピクニック・ランド」は、山を切りくずして、牧場、サイクリング・コース、池、森、プレイ・グランド等数多くの施設があり、柵や立入禁止の立札が余り見られず、公園ルールにのっとり、自然を楽しむ会員

子供達と作った食事を楽しむ会員

副支部長　宮内勉
事務局　宮崎啓子
〃　金秋広司

三島支部ハイク

寸又峡に友情の輪

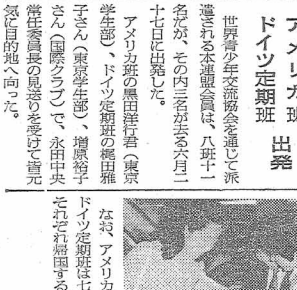
六月二十三日（土）激しい雨の中を決行した。夕六時半車三台にぎっしりと詰めて出発。みんなの顔が一同にまっとまれず残念だったが、快適に車は進む。雨上りの田園道でカエルの声を聞き、山道ではすばらしい景色を眺めまたとない思いを胸に残す。

翌朝、普段想像も出来ないような早起きをし、おいしい空気を満喫。体操、散歩と身体を動かし、日頃の運動不足を痛感。

雪の上を歩いているようなこわいつり橋、ひんやり心地よいトンネル、何もかもがらっとうしさを忘れてしまった。

みんなの幼いころを思いおこさせるような石投げ、楽しい歌のひとときを、おいしかったバーベキューと、今思い出しても自然と顔がほころんでくる。お互いの親睦はもちろん、大きな信頼と友情の輪を確実にすることが出来たように思う。貴重な一日を過し、二十四日無事帰着。

会長　長島泰朗
副支部長　田中恭一
企画部長　矢島純



若狭の空は五月晴れ

武生支部春季旅行

気象庁の天気予報は、例のごとく見事にはずれ、会員の人徳のせいあってか〝くもり時々雨〟のはずが五月晴れの上天気。

五月二十七日午前八時半、若狭へと出発し、小浜に十一時ごろついた。キングサイズで食気盛りの面々は、早々に〝腹ごしらえだ〟とわめきたてる。それではと小浜城跡で海を見ながらの昼食となった。城跡といっても石垣が残っているだけである。また若狭には、数多くの寺があり、近年福井の小京都として観光に力を入れて来ている。しかし、まだ人はまばらでそれほど俗化されていない。

杉木立の美しい妙楽寺、先を争って鐘をならしてみる。埋石式園のある万福寺では、皆出をうぶした様な顔の坊さんから説明を聞いた。

神社、寺めぐりの後、午後五時武生に帰着した。

（光りのさやか……なる真を送ってくれましたが、カラー写真からでは印刷できません。これからは〝白黒〟で。編集部）

源氏山は人の海

東京学生部ハイキング

東京学生部は、去る六月十七日（日）、新人を迎えて鎌倉へのハイキングを行なった。源氏山ハイキングコースを通り、最後はそこでお金を洗ろと増えるといわれる銭洗弁天であった。

久しぶりに都会のスモッグや騒音を忘れられると思ったら、どこえ行っても人ばかりであった。マスコミを通じた大がかりな行楽地の宣伝にまどわされ、草木もなびくレジャーブームを実感させられた。われわれは、自分の意志、主体性を見失なってはならない、などと考えさせられるハイキングであった。

アメリカ班　ドイツ定期班　出発

世界青少年交流協会を通じて派遣される本連盟会員は、八班十一名だが、その内三名が去る六月二十七日に出発した。

アメリカ班の黒田洋行君（東京学生部）、ドイツ定期班の梶田雅子さん（東京学生部）、増原裕子さん（国際クラブ）で、永田中央常任委員長の見送りを受けて意気に目的地へ向った。

増原、梶田両団員と委員長（羽田空港で）

なお、アメリカ班は七月二〇日、ドイツ定期班は七月二十五日に、それぞれ帰国する。

新役員紹介

▼愛知県支部連合会（五月二十七日選出）

会長　丹羽慶造
副会長　杉原晃代氏
〃　鈴木克昌
事務局長　永田広和

◇　◇

▼友愛むつみ支部（六月十七日選出）

支部長　長島泰朗
副支部長　田中恭一
企画部長　矢島純

中央日誌

6/9～15　中国・四国組織巡回（担当田中恭一事務局次長）
10　徳島県連第十二回大会（於　新町公民館）
17　友愛むつみ支部第三回総会（於　本部事務所）
学生部ハイキング（於　鎌倉）
品川支部バスにゆられてピクニック（於　ピクニックランド）
20　友愛クラブ六月拡大例会（於ヒルトンホテル）
21　海外派遣友愛関係者研修会（於鳩山邸はなれ）
海外派遣友愛関係者壮行会（於　鳩山邸はなれ）
23～24　第十二回組織指導者講習会（於オリンピック記念青少年総合センター・鳩山邸はなれ）
27　交流協ドイツ定期班・アメリカ班出発（於　羽田空港）
7/1　むつみ支部東京散歩（於　銀座歩行者天国）
3　東京茶道部会（於　文京福祉センター）
4　第四回本常任委員会・執行部長・次長合同会議（於　本部事務所）
第一回財団法人日本友愛青年協会運営委員会（於　鳩山邸応接室）
5　東京都支部連合会第四回執行部会議（於　本部事務所）
6　中央青少年団体連絡協議会合同委員会（於　日本青年館）
7　友愛婦人会（於　鳩山邸はなれ）

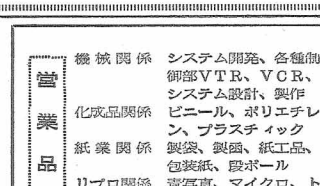
友愛新聞を購読しよう

友愛新聞は

—北の友、南の友が語らう場。
—みんなが作り、みんなが主張する。
—正しい世界観を育み心豊な青年を創る。
—明るい日本、平和な世界を建設する。

友愛の使命

自由のための革命が立往生、平等のための革命が失敗した後を受けて、今や国家と国家の間、階級と階級との間に橋架を架し、もって彼らの全部に対して自由なる人間が四海同胞たることの福音を伝えるであろう。——故カレルギー名誉会長著「自由と人生」より



申込先　友愛編集局宛
会員以外の方でも年間400円の購読料で新聞購読会員になれます。

朝日ゴールドレーン 36レーン
国電（常磐線）地下鉄（千代田線）亀有駅北口環7沿
株式会社 セントラル
TEL（603）4121
代表取締役　五十嵐省吾

営業品目
アスファルト系舗装工事
セメント系舗装工事
其の他各種舗装工事
舗装に付帯する土工事
株式会社 中嶋組
取締役社長　中嶋信行
東京都世田谷区中町四—七—一三
電話（七〇二）一一三一四番

あなたの企業環境は快適ですか？
ビルの保守管理は？
警備は完全でしょうか？
ビルデイング総合管理
保障警備
（公官庁指定）
株式会社 東洋実業
東洋警備保障株式会社
代表取締役　吉川栄二
本社　札幌市中央区南1条西2—6（長銀ビル）
TEL 261—9520（代）
夜間専用 251—2217
営業所 岩見沢・苫小牧・室蘭・旭川・函館
事業所 小樽・岩内・留萌・帯広・滝川・深川・恵庭・松前・静内・江差

営業品目
機械関係　システム開発、各種御御部VTR、VCR、システム設計、製作
化成品関係　ビニール、ポリエチレン、プラスチック
紙業関係　製袋、製函、紙工品、包装紙、段ボール
リプロ関係　青写真、マイクロ、トレース
自動車関係　ホンダ
ニッセー株式会社
本社　東京都千代田区外神田4—5—4
TEL 03 253—7581（代）
営業所　練馬、神田、京橋、川崎、沼津